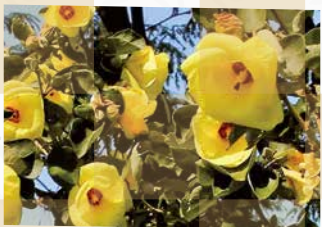


西区の宝

西区まるごと博物館推進会

TREASURES OF THE WEST DISTRICT

2021-2022



北崎エリア



凡例

	高速・有料道路		消防署
	国道		郵便局
	県道		寺院
	主な市道 (主要) (一般)		神社
	市営地下鉄		学校
	J R 線		幼稚園
	区町界		保育園
	バス停		病院
	区役所		市公民館
	警察署・交番		名所・旧跡



自然の宝

1 西浦岬灯台 景観

北崎最北端にある白いきれいな灯台で、今は太陽電池で動いている。北崎地区と玄界島の間の航海の安全を担う。

2 灘山 山

標高209.2mの山。第1、第2の二つの展望台がありハイキングコースも整備されていて眺望絶景な名所である。



歴史の宝

3 蒙古山記念碑 史跡・遺跡

蒙古山の山頂にあり、元寇時に見張り台があったとされる。現在は福岡西方沖地震によって倒壊しているが、当時をしのぶ遺物として歴史的な価値があると考えられる。

4 白木神社 寺社

祭神は五十猛命で、西浦の産土神として祀られています。妙見山の頂上にあつたものを昭和36年に現在地に移しました。毎年9月初旬には航海安全と豊漁を祈願し「ヒョウカリイライ」という祭りが行われています。



5 徳門寺 寺社

栄西が開山し、龍雲庵とっていましたが、寛文3年(1663年)に、徳門寺と改めました。寺室に「栄西禅師頂像」があり、楼門の文字は聖福寺の仙厓和尚が書いたものです。



6 くじら石 史跡・遺跡

江戸時代に「筑前五ヶ浦廻船」の千石船をつないだ礎石である。捕れた鯨もつないだ事から「くじら石」の名がついた。



7 大歳神社 寺社

筑前国風土記に「韓亭に社あり」と記されており、それがこの神社です。港を見下ろす高台にあり境内には大楠が繁っています。正月の「どんたく」では年男、年女の参拝で賑わいます。



8 東林寺と万葉歌碑 史跡・遺跡

建久2年(1191年)に禅宗の始祖である栄西が、中国(宋)からの帰国後、宋の東林寺の立地に似ていることから「唐泊山東林寺」と名付けて建立した。寺内には、「万葉歌碑」、「栄西禅師像」、「座禅石」がある。



9 三所神社 寺社

社伝によると神亀5年(728年)聖武天皇の頃に勧請され、航海の守護神の宗像三神が祀られている。「板絵着色武者絵馬」は葛飾北斎の弟子柳々居辰斎の作で航海の安全を祈願して奉納されたものであり、市の有形民俗文化財の指定を受けている。



10 光明寺(小田観音堂) 寺社

神亀5年(728年)に聖武天皇の勅願寺として法隠禅師が開山となり建立した。ご本尊は千手観音で、清賀上人の作と伝えられ、高さ2メートルを超える立像である。「雷山観音」、「油山観音」とならび「福岡三観音」の一つと言われている。



11 柑子岳城址 史跡・遺跡

戦国時代、大友氏が築城した山城の跡(標高254.5m)。大友氏の志摩地方支配の拠点となった。その後、原田氏の攻撃により陥落。現在はハイキングコースが整備され福岡市内を一望でき、展望台から見る初日の出は絶景である。

文化の宝

12 西浦のかずら引き 民俗行事(市指定無形民俗文化財)

8月16日に行われる。ふんどし姿の子どもや白い下着姿の男たちがかずらの盆綱にしがみつくと、わら縄で作ったはちまきをしたしょうき大臣が現れて、暖炉で一人ひとりの背中を叩く。叩かれた人は一年間無病息災と言われている。その後、綱が土俵に代わり相撲大会が始まる。



13 唐泊の御万歳 芸能

唐泊地区に伝わる伝統的な踊り。毎年1月13日に氏神大歳神社で行われる唐泊どんたくで着流しを着た年男により舞われる。「とくわ〜かに…」といった歌い出しで始まるため「とくわかに」とも呼ばれる。

14 草場の盆綱引き 民俗行事(市指定無形民俗文化財)

最も古い形を残した盆綱引きと考えられている。8月15日昼過ぎ、山から藤のつるを取ってきて、40m〜50mの綱を作り、夕方、みんなで綱を引いた後、綱の中央を斧で切る。これは先祖の霊が帰れるように、道を作るためだと言われている。



● 西浦の祝いめでた 芸能

西浦地区に伝わる独特の節回しによる祝いめでた。祝宴の最後に出すものとされる「博多祝いめでた」に比べてテンポが速く、また、必ず祝宴の冒頭に唄うものとされている。唄の番数も多く、漁業にちなんだ内容の唄や緑起の良い内容の唄が、7番、9番と奇数回数が唄われる。

今宿・周船寺エリア

今宿・周船寺エリア



今津干潟

今津橋

今津湾

18 今山遺跡

今山遺跡
今山
▲80.8
熊野神社

3 今山特別緑地保全地区

4 今山タンポポ群生地

22 横町祇園神社の子ども山笠

19 二宮神社・亀井少菜

20 唐津街道「今宿」沿いの史跡群

玄洋高

元岡中

にじのはな

12 丸隈山古墳

こじか

中牟田池

周船寺小前

農村センター前

周船寺小

16 三所神社

17 宇多神社

横浜1

横浜2

玄洋中

玄洋中前

舞鶴高校入口

北原東口

北原

山崎

湯溜池

徳永北

徳永

飯氏

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里

千里





凡例

	高速・有料道路		消防署
	国道		郵便局
	県道		寺院
	(主要) (一般)		神社
	主な市道		学校
	市営地下鉄		幼稚園
	J R 線		保育園
	区町界		病院
	バス停		市公民館
	区役所		警察署・交番
	警察署・交番		名所・旧跡



今宿 いまじゅく すせんじ 周船寺

今宿エリアはJR今宿駅を起点に歴史散策が出来ます。周船寺エリアはJR周船寺駅を起点に古墳探訪が楽しめます。

自然の宝

① 長垂の含紅雲母ペグマタイト岩脈 ながたれ がん こう うん も ながたれ がん こう うん も ながたれ がん ほう やく

鉱物 天然記念物(国指定)

ペグマタイトは、主としてせきせい ちょうせき うんもからなる火成岩で、巨晶花崗岩または鬼みかけともいう。当ペグマタイト岩脈は、珍しい紅雲母を含んでいるが、旧陸軍の採掘により現在は美しい紫紅色を見ることは難しい。(能古博物館に展示あり)



④ 今山タンポポ群生地 植物 いま やま ぐん せい ち

春、道端で見かけるタンポポのほとんどは「セイヨウタンポポ」である。今山には日本固有の「カンサイタンポポ」と九州付近にしかないと言われている「シロバナタンポポ」が一緒に群生している数少ない場所となっている。



シロバナタンポポ



カンサイタンポポ

② 八雲神社のクスノキ 保存樹 や ぐも じん じや

樹高19m、幹周り5.0m。大人が4・5人で手をつないでやっと届くほどの太い幹周りである。ホルトノキと根元で一緒になっていて珍しい。

③ 今山特別緑地保全地区 特別緑地保全地区 いま やま とく べつ りよくち ほ ぜん ちく

今津湾の西側に位置する今山山頂(約80メートル)及び山麓一帯。弥生時代の石斧製作所の跡がある。

今山山頂近くの熊野神社には、近隣の横浜地区、北原地区の産土神として伊弉册命、速玉男命、事解男命が祭られている。神功皇后が紀州熊野から勧請されたとの言い伝えがあり、筑前福岡藩6代目藩主黒田継高公が拝殿改築の用材一切を寄進したといわれ、今山石斧遺跡を含めた歴史遺産群となっている。

また、神社周辺は緑地保全地区としてスダジイ、スギ、イチヨウ、エノキの大木39本もの保存樹がある。

歴史の宝

⑥ 鋤崎古墳(今宿古墳群) すき さき こ ふん いま じゅく こ ふん ぐん

史跡・遺跡(国指定史跡)

4世紀末から5世紀初頭にかけて築造された前方後円墳で、墳長は62m。今宿の首長墓に位置づけられ、短いながらも羨道を備えた横穴式石室を持つ初期の古墳である。未盗掘のままで発見された石室や出土品のレプリカが福岡市博物館に展示されている。

⑧ 今宿大塚古墳(今宿古墳群) いま じゅく お お つ か こ ふん いま じゅく こ ふん ぐん

史跡・遺跡(国指定史跡)

6世紀前半の前方後円墳で、墳長は64m。墳丘、周濠、外堤の規模と、整然としたその姿は、前方後円墳の形をはっきりと見ることができる、北部九州屈指のものである。



⑦ 八雲神社 寺社 や ぐも じん じや

神社所蔵の若武者絵馬は、福岡藩四代藩主黒田綱政が元禄14年(1701年)に奉納したもので、狩野昌運の作。市指定有形民俗文化財で市博物館に保管されている。正月元旦に奉納される今宿青木の獅子舞は市指定無形民俗文化財。



⑨ 宮崎安貞の書齋・墓 歴史上の人物(県指定史跡) みや ざき やす さだ しよ さい ほか

安貞は安芸の広島で生まれ、25歳で福岡藩に仕え、30歳で藩を退き、各地を歩き農業技術を学んだ。その後、女原に住み、農業の実践・研究・指導に専念した。安貞の「農業全書10巻」は、この書齋で書かれ、元禄10年(1697年)に完成した。



⑩ 若八幡宮古墳 わか はち まん ぐう こ ふん

(今宿古墳群) いま じゅく こ ふん ぐん

史跡・遺跡(国指定史跡)

4世紀後半の前方後円墳で墳長は47m。神社背後の丘陵上に後円部を中心とした墳丘が残っているが、前方部が道路建設などで削り取られている。

⑪ 山の鼻1号古墳 やま はな こ ふん

(今宿古墳群) いま じゅく こ ふん ぐん

史跡・遺跡(国指定史跡)

徳永字山の鼻、即ち南から続く丘陵が北で切れる丘の先端、山の突先にあった前方後円墳である。4世紀前半のものと考えられ墳長44m。今宿平野の首長墓の系譜で最古に位置づけられる。

⑫ 丸隈山古墳 まる くま やま こ ふん

史跡・遺跡(国指定史跡)

5世紀前半の横穴式石室を持つ前方後円墳で、外から内部の石棺を見ることが出来る。墳長85m。今宿平野だけでなく、糸島平野全体を掌握した首長の墓と考えられる。古墳発見は江戸時代で、貝原益軒の「筑前国続風土記」には、発掘時の様子が書かれている。



13 伊観神社 寺社

もとは主船司神社という。創建の時期は不明。江戸時代前期の神社名は、松の木天子社で、その後松木天神となり、伊観神社となったといわれる。なお、周船寺という地名は、一説によると、奈良時代大宰府政庁の時代に船を司る役所（主船司）があったことに由来するといわれている。



14 兜塚古墳(今宿古墳群) 史跡・遺跡(国指定史跡)

5世紀代の前方後円墳で墳長は54m。前方部は削られ、ほとんど残っていない。内部主体は横穴式石室である。副葬品は多く盗掘されていたが、武具等は残っていた。又、後円部頂上から平安時代の経筒が発見されている。



15 飯氏二塚古墳(今宿古墳群) 史跡・遺跡(国指定史跡)

6世紀初めの前方後円墳で、墳長は48m、高さ5m。後円部の直径23m、前方部の幅は33m。後円部中央部の横穴式石室に遺体があり、馬具等の副葬品があった。

16 三所神社 寺社

高祖宮、飯石宮、馬場宮をあわせて三所とされる。神社の裏には、千里の飛び石がある。「高麗より千里の遠きを経て来たりしにより、この名あり」「除夜のおり、空中鳴動し、この石現る」と記録に残っており、千里も遠くから飛んできたので地名も千里になったといわれている。



17 宇多神社

宇多天皇（9世紀頃）を祀った神社とされるが、宇田川原と宇多天皇の結びつきは不明。元旦には、宇田川原豊年獅子舞（市指定無形民俗文化財）が奉納される。これは享保の大飢饉のち、豊作を祈ることから始まったもの。

18 今山遺跡 史跡・遺跡(国指定史跡)

今山は高さ約80m。山頂や山麓部の玄武岩を用いた弥生時代の初期から中期の大型石斧製作所跡である。製作された石斧は、北部九州で広く発掘・発見されている。また、海側では、古墳時代に製塩が行われ、平安時代には港湾施設があったといわれている。



19 二宮神社・亀井少葉

前は五郎江（今宿小学校付近）にあったものを、正徳年間（1711～1715）に現在地に移したと言われている。

亀井少葉（1798～1857）は福岡藩の儒学者亀井南冥の孫娘で、昭陽を父とし、現在の西区姪浜で生まれる。書・漢詩や絵画に秀でた才女として有名であり、結婚後、今宿（二宮神社横）に住み、塾を開き、子どもたちに書を教えた。



能古博物館には、筑前亀井学派の資料が多く展示されている。

20 唐津街道「今宿」沿いの史跡群

唐津街道の宿場町今宿は、姪浜宿と前原宿の中継ぎの宿場として作られた。今宿の「今」は新しいという意味であり、この街道沿いには種々の史跡がある。門際と呼ばれる、馬つなぎ石、代々の黒田藩主に尊崇された櫻井神社への道標、享保の大飢饉の時、今宿でなくなった無縁の人達を供養した飢人地藏堂などが見られる。



飢人地藏堂

21 叶岳(叶嶽神社)

飯盛山から、標高419.4mの付近では一番高く見晴らしのいい高地山を經由して、尾根筋を北に行くと叶岳(341m)である。

叶嶽神社は、600年ほど前、熱烈な地藏信仰で知られた足利義満の家来筋にあたる、上原の豪族吉住因幡守忠親が、義満に倣って京都の愛宕権現より將軍地藏の分霊を觀請し、建立したものである。



文化の宝

21 今宿上町天満宮の鬼すべ

太宰府天満宮に端を発し、毎年正月7日に行われる。わら褌と角をまとった鬼と、鬼を防ぐ若者が、押し合いながら隣組を廻り、神社に戻った鬼は松を焚いた煙にいぶされて格子内に押し込まれる。



22 横町祇園神社の子ども山笠

榊田神社の流れをくみ、150年前より行われている。毎年7月14日、お汐井取り後に、水はっぴ姿の子ども達が、200kgもある山笠を担いで勢い水を受けながら練り巡る姿は、勇壮そのものである。



今津・元岡エリア



今津・元岡エリア



凡例			
	高速・有料道路		消防署
	国 道		郵便局
	県 道		寺院
	主な市道		神社
	市営地下鉄		学校
	J R 線		幼稚園
	区 町 界		保育園
	バス停		病院
	区 役 所		市 公 民 館
	警察署・交番		名所・旧跡

今津いまづ元岡もとおか

今津・元岡エリアは古くから対外交流を語る寺院や遺跡が多く残っています。



自然の宝

① 宝島ほうじま 島

今津湾に浮かぶ日本三大宝島のひとつ。戦前には真珠がとれたとも言われている。福岡市漁協（浜崎今津支所）が所有。



② 今津干潟いまづ びがた 干潟 鳥獣保護区

瑞梅寺川が今津湾に流れ込む河口の干潟で、クロツラヘラサギ、ツクシガモなどの珍鳥のほか、カモ、サギの仲間など多くの野鳥が渡ってくる水鳥の宝庫である。また、カブトガニの産卵地としても有名である。



③ クロツラヘラサギ 動物(絶滅危惧ⅠB類)

トキ科の鳥。全長70cmぐらい、目先とくちばしの付根の皮膚が裸出し黒いが体全体は白い。くちばしは先が幅広く、円形のヘラ形で黒い。今津干潟に渡来することで有名。



④ カブトガニ 動物

節足動物/剣尾類
生きた化石として有名。瀬戸内海と九州北岸にだけ分布する。6月末から7月上旬に海岸近くの砂中に産卵する。今津干潟でも減少しつつある。



⑤ ハマボウ 植物

落葉低木/アオイ科

「濱椿」ともいわれ、万葉の昔から詩歌によく詠まれている。今津で古くから自生していたが少なくなった。七月初旬に一日だけ美しい花が開く。今津干潟の他、長垂公園の岩場にも生息する。



⑥ 毘沙門山びしゃもん やま

300～370万年前(新世代新第三紀)の火山活動を偲ばせる玄武岩が山頂に分布しており、円筒形をした玄武岩の岩頸は、噴火の時に残った溶岩や砕屑物が固まってできたものである。また、標高177メートルの山頂からは、糸島半島の海岸線とそれに続く山々、能古島、机島が浮かぶ博多湾が一望でき、大変素晴らしい眺めである。



歴史の宝

⑦ 誓願寺せいがんじ 寺社

筑前怡土・志摩両郡の豪族、中原氏の娘の発願で、安元元年(1175年)に、臨済宗の開祖である栄西を招いて創建された。栄西直筆の書である国宝「誓願寺盂蘭盆縁起」や海外交流を裏付ける「銭弘俵八万四千塔」、「孔雀文洗金経箱」(ともに国重要文化財)が伝えられている。また、毎年11月第3日曜日に厄除け祈願祭として、火渡り護摩行が行われる。



⑧ 登志神社としじんじゃ 寺社

今津は、古代「登志郷」と呼ばれ、その湊鎮守のために祀られた神社である。祭神は豊受姫大神、中筒男命、姫大神。成人の日には、この神社を氏神として「今津の十一日松囃子」が催され、山笠や山車が町内を走る。



今津・元岡エリア

9 勝福寺 寺社

中国の僧、蘭溪道隆(大覚禪師)が開山し、鎌倉幕府5代執権、北条時頼を檀越として建長元年(1249年)に創建された。延文5年(1360年)には、勅願寺となった。国の重要文化財「絹本着色大覚禪師像」や数々の中世の文書が伝わる。



絹本着色大覚禪師像

10 千人塚・万人塚

史跡・遺跡

今津には二つの蒙古塚があり、元寇の時の戦死者や元の捕虜で死罪になった者を火葬にした場所といわれている。元寇で亡くなった元軍兵士たちを慰霊するためにつくられたものである。



11 今津元寇防塁 史跡・遺跡(国指定史跡)

鎌倉時代、元が来襲した文永の役(1274年)の2年後、わずか6ヶ月間で博多湾沿岸に約20kmに築かれた石塁。今津地区は柑子岳山麓から毘沙門山山麓までの3kmが大正2年発掘され、その後200mに渡って復元保存されている。松林内の休憩所を兼ねた展示施設では映像やパネル資料が見学できる。



12 四所神社 寺社

祭神は、天照大神、住吉大神、八幡大神、春日大神の4つの大御神である。筑前風土記によれば、ここは異国船が出入りしたところであったので、その鎮守の為に勧請されたと伝えられている。



13 熊野神社 寺社

今津漁港の背後に位置し、当地の産神です。拝殿には明治から昭和の武者絵馬があります。



14 八大龍王 寺社

創立は1168年～1187年。祭神は法華経第一序品にも出ている8種の大竜王で、難陀・跋難陀・娑羯羅・和修吉・徳叉迦・阿那婆達多・摩那斯・優鉢羅。榮西が中国から帰ってくるとき暴風雨に遭ったが、八大龍王の加護により九死に一生を得て帰国できたことへの報恩で祀られている。



15 元岡瓜尾貝塚

史跡・遺跡(県指定史跡)

昭和31年(1956年)に発見された。縄文時代後期後半を主としたもので、縄文土器や黒曜石を使った石器、石鏃や石斧、鹿や猪の骨、人骨などが出土している。昭和43年に県の史跡に指定され、今でも池の南側に貝殻や土器の破片を見ることができる。

16 本岳寺 寺社

臨済宗大徳寺派の寺院。奈良時代の法相宗の高僧、行基菩薩の開基と伝えられ、本尊も行基菩薩の所作と寺伝にある。江戸時代、大應国師を開山勧請とし、崇福寺の末寺となった。現在の本堂は昭和10年に再建されたものである。1805年、鑄工磯野平五良により作られた寺宝喚鐘は福岡市指定文化財となっている。



17 八坂神社 寺社

時代は不明であるが、京都の八坂神社(祇園さん)より勧進。大己貴命など元岡村内数社の祭神を大正9年10月14日に元岡村村社の八坂神社に合祀したもの。

毎年7月14・15日に祇園祭が催され、「元岡祇園ばやし」、「元岡獅子舞」(ともに市指定無形民俗文化財)が奉納される。

18 九大伊都キャンパス内元岡・桑原遺跡群と庚寅銘大刀 史跡・遺跡(国指定重要文化財)

元岡・桑原遺跡群からは前方後円墳7基、群集墳(円墳)75基、縄文・弥生・古墳・古代・中世等各時期の集落遺跡や今津湾大原海岸の良質な砂鉄を使って日本最大級の50基を超える製鉄炉跡、日本最古の年号「大宝元年」の入った木簡が発見されている。

庚寅銘大刀は古墳時代後期の古墳から、金象嵌で文字が記された鉄製の大刀が発掘され、西暦570年と暦の使用が確認できる日本最古の資料と評価されており、令和元年7月に国の重要文化財に指定されている。





姪浜・愛宕・下山門エリア

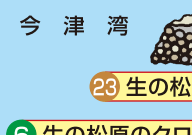


凡例

- 高速・有料道路
- 国道
- 県道 (主要) (一般)
- 主な市道
- 市営地下鉄
- J R 線
- 区町界
- バス停
- 区役所
- × 警察署・交番
- Y 消防署
- 〒 郵便局
- 卍 寺院
- F 神社
- ⊗ 学校
- ⊙ 幼稚園
- ⊕ 保育園
- + 病院
- Ⓐ 市公民館
- ⋯ 名所・旧跡



姪浜・愛宕・下山門エリア



自然の宝

① 愛宕神社のスタジイ 保存樹

樹高20m幹周り3.3m。神社の桜坂参道沿いの樹で縁結びのご利益があると言われている。



② 愛宕山特別緑地保全地区 特別緑地保全地区

山頂からの博多湾の展望がすばらしく、昔から市民に親しまれている愛宕神社の境内の周囲にあるクスノキ、アラカシ、エノキ、ムクノキ等の群生林。

③ 万正寺のタブノキ 保存樹

樹高13.5m幹周り3.4m。初代住職が万正寺を開き、お堂を建てた所にあるが、その後お堂は移されてしまい、今はひっそりとした境内の別地、探題塚にたっている。

④ 住吉神社のイチヨウ 保存樹

樹高14m。幹周り4.8m。昔は海がもつと近くにあったため、漁に出た舟の目印になっていたと言われ、御神木として樹齢700年とも言われている。



⑤ 十郎川 二級河川

市内でも珍しく堰がない上に、川底も自然のまま水質が良く、多様な生き物が生息している。叶岳や熊野神社の森、生の松原等を結ぶ地域の骨格的な緑の軸を形成しているとともに、身近にふれあうことができる河川である。

⑥ 生の松原のクロマツ林 保存樹

今津湾に面したクロマツ林。今の松は江戸末期から明治にかけて植林されたものが多い。海岸の防風林として用いられた。

⑦ 斜ヶ浦池 池

渡り鳥が飛来し、多くの野鳥も生息する多自然型親水公園。平成11年度にこれまでのため池が親水公園に生まれ変わった。近くには平安時代の瓦窯跡があり、鴻臚館の瓦を焼いたと云われている。また、池の周辺には下山門西公園や生の松原緑地が隣接している。



⑧ 熊野神社のフジ、マキノキ 保存樹

藤棚面積175㎡。房の長さが1mほどになる。見頃は4月下旬頃からで、可憐な紫色の花を見に多くの人が訪れる。

⑨ 拾六町特別緑地保全地区 特別緑地保全地区

広い藤棚で有名な熊野神社の所有地でスタジイ、カシ、クスノキ等の群生林。



⑩ 室見川の白魚漁

春の風物詩。西区を流れる清流「室見川」に毎年2月から4月になり水温が上がると、産卵のために博多湾から上ってくる体長約4.5センチのハゼの仲間。背中に一列の黒点があり白く透明な魚。この白魚を「やな」と呼ばれる仕掛けで捕獲する、江戸時代から続く伝統的な漁法。地元では「しらうお」と呼んでいる。

11 岩窟弁財天社 寺社

ご祭神は市杵嶋姫命で、海の神・航海の神として信仰されている。昔、姪浜の住人が宗像宮に海上の安穏を祈願したところ、「是より西南へ八里鷲尾山北麓の海辺に有縁の地あり」とご信託があり、宝鏡を拝してこの岩窟に奉祀したもので、天平年間（729～749）に建てられた姪浜住吉神社とほぼ同じ頃からの始まりとされている。その後、江戸時代に本地仏弁財天として鎮座して以来、学問、芸術、商売の各方面に、靈驗あらたかといわれている。

12 鷲尾城跡 史跡・遺跡

鎌倉幕府が元寇の後、九州の防衛拠点とするため、姪浜に奉行所（鎮西探題）を設け、鷲尾山に城を築いたものである。周辺からは土板に経文を彫った瓦経が多数出土した。



13 愛宕神社 寺社

愛宕山は昔、鷲尾山といわれ、鷲尾権現がまつられていた。その後寛永11年（1634年）筑前国二代藩主黒田忠之が京都の愛宕権現をむかえたのが愛宕神社の始まりといわれている。正月大祭、桜祭り（4月）、ほおずき夏祭り（7月）、火祭り（12月）などの行事は多くの人でにぎわいをみせている。



14 蛇岩 史跡・遺跡

砂岩が長い間浸食され、遠くから見ると大蛇が横たわっているように見えることから蛇岩と呼ばれている。これにまつわる悲しい恋愛物語が残っている。



15 観音寺 寺社

真言宗観音寺は愛宕山の麓、蛇岩の上に位置する。昔から竹の山観音として地元民に親しまれている。由来は、西暦955年（天歴9年）別当東林寺として建立し、その後、西暦1632年（寛永11年）別当円満寺として建立した。京都愛宕山より、将軍地蔵尊を勧請し、愛宕権現と称した。明治維新により、神社と寺院は分離、円満寺は観音寺と公称され現在に至る。境内には、修業時代の弘法大師像、十三仏像、勝軍地蔵像、数々の仏像が設置されている。



16 探題塚 史跡・遺跡

元寇の折、鎌倉幕府は元軍の来襲に備え、姪浜に探題を置いた。最後の探題「渋川菟頭」を葬ったのがこの探題塚である。「鎮西將軍貫峰日大居士公位」と刻まれた墓碑が建てられている。地元ではここを最後の九州探題の墓として守り続け、「探題さま」と呼び親しんでいる。



17 亀井南冥生誕地 歴史上の人物

亀井南冥（1743年～1814年）は、志賀島から発見された金印を守る「金印弁」を著した人である。福岡藩西学問所「甘菜館」の館長となり、多くの門弟を育成した。能古博物館には、筑前亀井学派の資料が多く展示されている。



18 住吉神社 寺社

奈良時代の、天平年間（729年～749年）に住吉三神をお祀りしたことに始まる。室町時代に北側の海岸近くから現在地に移転された。境内にはイチョウの大木や除災招福の河童の像がある。正月の玉せせり、夏の輪越し祭り、秋のおくんち等は姪浜の風物詩である。



19 旦過だるま堂 史跡・遺跡

興徳寺の旦過寮（旅の僧を宿泊させてもてなした場所）があったところ。中国の禪宗の開祖、達磨大師を祀っている。市指定文化財の銅造塔婆型厨子や室町時代姪浜石で造られた「繁層式五重石塔」がある。



20 唐津街道と旧家 史跡・遺跡

唐津街道(小倉～唐津間)は、江戸時代の主な街道の一つである。殊に姪浜は宿場町として栄え、今もその面影は百年以上たつ「町家造り」の家や土蔵に残っている。民家に入れば巨大な梁や大黒柱、漆塗りの大戸棚などを観ることができる。



21 興徳寺 寺社

臨済宗大徳寺派に属する寺。文応元年(1260年)に鎮西探題北条時定が建立した。開山は南浦紹明(大応国師)である。元寇ひつ迫の時三年間住職として留まった。毎年11月29日の開山忌には、本堂に国指定重要文化財「絹本着色大応国師像」が掛けられる。



22 小戸大神宮 寺社

小戸公園の中ほどにある神社。日本書紀や古事記に記されている『筑紫の日向の橘の小戸の阿波岐原』の「小戸」とは福岡市西区の小戸であるとの説がある。天照皇大神、月読命、素戔鳴命、住吉三神、志賀三神などが誕生した聖地とも言い伝えられる。神功皇后の伝説にまつわる「安産石」「鎧掛の松」「お膳立て」などもある。



23 生の松原元寇防塁 史跡・遺跡(国指定史跡)

鎌倉時代、元が来襲した文永の役(1274年)の後、再度の来襲に備えて、博多湾に沿って約20kmの海岸に築かれた石築地が元寇防塁である。この防塁のお陰で2度目の蒙古襲来時(弘安の役1281年)には上陸を防いだ貴重な防衛施設である。蒙古襲来総詞には、肥後の御家人竹崎季長の活躍が描かれているが、その中に生の松原元寇防塁の様子が描かれている。



24 壱岐神社 寺社

「日本書紀」に登場する壱岐値真根子をまつる神社である。武内宿禰(大和朝廷の初期に活躍したという伝承上の人物)が、陰謀により、応神天皇の刺客に殺されようとしたとき、壱岐値真根子が身代わりとなった。



25 拾六町ツイジ遺跡 史跡・遺跡

福岡市立城原小学校の「敷地そのものが遺跡」という珍しい遺跡。弥生時代初頭から中世にかけての遺跡で、木製の鋤や鍬、舟形木器の他、「7,000点余りの農具や建築材」など多種類の木製品が出土した。稲作が始まる弥生時代から中世(13世紀頃)にかけての「農具」の移り変わりや、当時の人々の「生活の様子」をうかがい知ることのできる貴重な遺跡である。

26 熊野神社(拾六町) 寺社

創建は不明だが、永仁(1293年)に、生の松原に熊野神社が祀られたことが「旧壱岐神社文書」に記されている。神社内に収納されている木造「大日如来坐像」(県指定文化財)は平安時代末期から鎌倉時代前期の作品とされている。



27 草場古墳群 史跡・遺跡(福岡市指定史跡)

方墳1基、円墳10基からなる古墳群で、現在1～4号墳が保存されている。石室から出土した須恵器などが6世紀後半から7世紀前半の古墳であることを示している。

野方・金武エリア



凡例

- | | | | |
|--|-----------|--|-------|
| | 高速・有料道路 | | 消防署 |
| | 国 道 | | 郵便局 |
| | 県 道 | | 寺院 |
| | (主要) (一般) | | 神社 |
| | 主な市道 | | 学校 |
| | 市営地下鉄 | | 幼稚園 |
| | J R 線 | | 保育園 |
| | 区 町 界 | | 病院 |
| | バス停 | | 市公民館 |
| | 区役所 | | 名所・旧跡 |
| | 警察署・交番 | | |

野方・金武エリア

野方 のかた かなたけ 金武

野方・金武地区は、東を室見川、西を叶岳、飯盛山、南を西山に囲まれた自然豊かな地区です。

自然の宝

① 橋本特別緑地保全地区 特別緑地保全地区

橋本八幡宮の所有地でクスノキ、アラカシ、イヌマキの群生林があり保存樹も多い。「きづな」と命名されたマキノキは5mの所でクスノキと合している。

② 橋本八幡宮のイヌマキ 保存樹

樹高20m、幹周り4.2m。常緑で細長い葉が特徴で、お宮に入って左右に立つ2本の古木は男マキ、女マキと呼ばれる御神木である。また林の中には五～六百年の樹齢の古木もある。



③ 金武アメンボ池 池

金武公民館の北側に位置する地域の人々が作ったビオトープ（人が造った生物の生存する環境）で、絶滅危惧種の植物やメダカを保護育成しており、地域の人々により守られている。



④ 西区ふれあいの森 森

西区叶岳の裾野にあり、以前は国有林だったが、現在は福岡市に移管されている。住宅街のすぐ近くであり、サクラやモミジが植えられ、散策や植物・野鳥など身近な自然観察が出来る森である。

⑤ 飯盛特別緑地保全地区 特別緑地保全地区

飯盛神社の境内を中心に飯盛山の一角にはマキ、クスノキ、アラカシの群生林がある。中でも、樹齢五百年を超えるクスノキや1mの幹周りを持つ御神木のナギノキが本殿の左側にある。この他にもツバキ、ケヤキ、マキ、スギの大木もある。



⑥ 飯盛山の王桜 樹木

飯盛山の中腹で中宮の上方にあり、樹齢は120年から150年と推定される山桜。4月上旬に開花し、緑の山中に薄桃色の塊が浮き上がる眺めは素晴らしい。地元の保護活動も盛んに行われて、王桜と呼ばれている。



⑦ 金武のヤマモモ 樹木(県指定天然記念物)

推定樹齢300数十年の巨樹。胸高周囲4.4m、根回り8m、樹高14mで、那珂川町中の島公園にあるもう1本の県指定天然記念物のヤマモモより大きい。個人の所有であるが公開されている。人の踏圧による土壌構造の破壊が樹勢を衰退させるおそれがあるため注意して見学してほしい。洞ができており、しばしばフクロウが営巣する。



⑧ 妙見宮内の市保存樹群 樹木

妙見宮(五十猛神社)の境内及び周辺には、24本もの市保存樹があり、社寺林として良好な自然的景観を形成している。

歴史の宝

⑨ 橋本八幡宮 寺社

室町時代中期の文明14年(1482年)に、柴田藏人佐繁信と重信の父子により創建された。黒田藩3代目当主光之の厚い保護の下、百道松原に遷宮し、さらに高取に移って紅葉八幡宮となった。境内には創建当初から巨大な榎や楠が茂り、保存樹も多い。



⑩ 野方遺跡 史跡・遺跡(国指定史跡)

弥生時代後期(3世紀)から古墳時代前期(4世紀)にかけての環壕集落跡である。現在は史跡公園として整備され、園内の住居跡展示館では、当時の人達が生活していた竪穴式住居が発掘された状態で保存され、土器や生活用品などを見ることができる。



⑪ 羽根戸原地蔵堂と羽根戸古墳群 史跡・遺跡

新四国霊場第35番礼所の地蔵堂で、境内には桜の木が多く、花見の季節には多くの人々が訪れている。地蔵堂周辺の羽根戸古墳群からは、明治13年(1880年)頃、高さ70.5cmの「裝飾付器台・子持ちはそう」が欠損の少ないほぼ完全な形で出土した。現在は伊勢神宮宝物館に所蔵されており、飯盛神社にレプリカがある。国の重要文化財となっている。



⑫ 羽根戸南古墳群 史跡・遺跡

古墳時代の中期～後期(5～6世紀)の3基の前方後円墳を含む18基の古墳群。埋葬された古墳群の上に建つ市水道局技術研修所の玄関横に実物の箱式石棺、1階ロビーに、埋葬状態を示す模型がある。一つの前方向後円墳から「位至三公鏡」という中国鏡が出土した。



歴史の宝

13 松林飯山生誕地と石碑 史跡・遺跡

長崎大村藩の幕末の志士で大村市の偉人として慕われている松林飯山の生誕地。地元の飯盛山から「飯山」と名付けられたと言われている。幼少のころから神童と呼ばれ、大村藩主に見出されて19歳の時に江戸へ上った。幕府の昌平坂学問所を主席で卒業して同藩に戻り、藩校（五教館）の校長を務めた。



14 飯盛神社 寺社(市指定文化財)

旧早良郡総鎮守の一の宮で、平安時代の有力神社。創建は貞観元年（859年）といわれ、現社殿は慶安3年（1650年）黒田二代藩主忠之の寄進。石造狛犬・上宮跡出土の瓦経・粥占神事は県の文化財に指定され、社殿・飯盛神社文書・流鏑馬神事が市の文化財に指定されている。



15 飯盛文殊堂 寺社(市指定文化財)

飯盛神社の神宮寺真教院の跡地に建つ。鎌倉時代には、奈良西大寺の末寺であり、この地方の真言律宗の中心として栄えた。堂内には、市指定文化財である仏師堪幸作の文殊菩薩騎獅像が安置されている。文殊堂の周辺には三基の梵字板碑があり、貞和5年（1349）の板碑（市指定文化財）は、文殊菩薩を表わす梵字（マン）を刻む。



16 吉武高木遺跡 史跡・遺跡(国指定史跡)

弥生時代前期末から中期初めにかけての「王墓」といわれている。青銅の剣、矛、翡翠の勾玉、朝鮮半島製の多鈕細文鏡などが出土しており、現在、これらの副葬品は国の重要文化財に指定され、市博物館に展示されている。

平成29年4月、「やよいの風公園」がオープン。



17 旧三瀬街道と金武宿 史跡・遺跡

江戸時代中期頃から明治時代にかけて、福岡と佐賀を結ぶ重要な街道であった。当時は物資を運ぶ人馬や武士商人などの旅人の宿泊地として、金武宿があり、大いに賑わっていた。現在も当時の面影を偲ばせる漆喰壁の土蔵などの家並みが残っている。

18 夫婦塚古墳 史跡・遺跡(市指定史跡)

6世紀後半の古墳で、かつては2つの「方墳」が寄り添うように並立していたことからこの名が付けられた。1号墳は消滅しているが、2号墳には巨石で築かれた横穴式石室がある。石室は長さ11.5mもあり、中に入ることができる。石室からは、須恵器のほか、珍しい五鈴鏡などが出土している。



19 妙見宮(五十猛神社) 寺社

公式名称は五十猛神社であるが、昔から「お妙見様」として地元の人に親しまれている。境内には、黒田官兵衛の家臣のうち精鋭24人を描いた「黒田二十四騎」など25点の武者絵や絵馬が奉納されている。



文化の宝

20 飯盛神社のかゆ占 民俗行事(県指定無形民俗文化財)

稲作を中心としたその年の農作物の豊凶を占う神事。2月14日、粥を炊き翌日に神前に供えらる。3月1日に粥開きが行われ、粥のかびの長さや色合いでその年の作物の予想が参詣者に伝えられる。



21 飯盛神社流鏑馬行事 民俗行事(市指定無形民俗文化財)

10月9日に飯盛神社で行われる神事。五穀豊穡、武運長久、無病息災を祈って約400年継承されてきた伝統行事である。狩衣姿の武者が疾走する馬上から弓を射る。





能古島・玄界島・小呂島エリア



能古島エリア

●バス(H31.4月現在)

【姪浜駅北口～能古渡船場(姪浜)】
 所用時間:約15分 運賃:¥170
 バスは、おおよそ20～30分間隔で運行しています。
 【渡船場 ↔ アイランドパーク】
 所用時間:約13分 運賃:¥240
 バスは、おおよそ1時間～90分間隔で運行しています。
 なお、春と秋の行楽シーズンは、臨時便が運行されます。
 ※お問い合わせ
 西鉄お客様センター
 TEL 0570-00-1010 または 092-303-3333

●市営フェリー(H31.4月現在)

姪浜発 → 能古島		能古島発 → 姪浜	
○5:15	15:15	○5:00	15:00
6:15	16:15	6:00	16:00
6:45	16:45	6:30	16:30
7:15	17:45	7:00	17:30
7:45	18:15	7:30	18:00
8:15	18:45	8:00	18:30
9:15	19:45	9:00	19:30
10:15	20:30	10:00	20:15
11:15	21:00	11:00	20:45
12:15	22:00	12:00	21:45
13:15	○23:00	13:00	○22:45
14:15		14:00	

所要時間 10分 ¥230 ○印は日・祝日運休

玄界島エリア

●市営フェリー(H31.4月現在)

玄界島発 → 博多		博多発 → 玄界島	
6:20	14:30	7:10	16:45
8:00	17:35	8:50	18:30
9:40	19:45	11:20	21:00
12:10		13:30	(20:35)

所要時間 35分 ¥860 ※12月～2月の期間は博多発最終便は()の時刻となります。

小呂島エリア

●市営フェリー(H31.4月現在)

月曜日・水曜日・金曜日

小呂島発 → 姪浜	姪浜発 → 小呂島
6:45	15:00

火曜日・木曜日・土曜日・日曜日

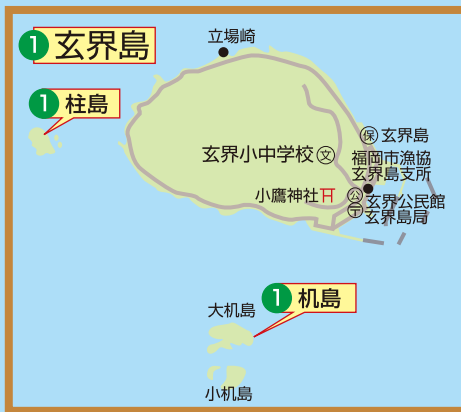
小呂島発 → 姪浜	姪浜発 → 小呂島
6:45 13:20	9:00 15:00

所要時間 65分 ¥1,760

※お問い合わせ(市営フェリー)
福岡市港湾空港局客船事務所
TEL 291-1085

凡例

- バス路線
- 自然探勝路
- 桜道
- 一般道
- バス停
- 警察署・交番
- 郵便局
- 寺院
- 神社
- 学校
- 保育園
- 名所・旧跡



能古島・玄界島・小呂島エリア

能古島のこのしま 玄界島げんかいしま 小呂島おろのしま

自然の宝

① 玄界島・机島・柱島 島

玄界灘から博多湾への入口にある島々で、その形はかつての火山活動を偲ばせ、地質学的にも見所となっている。



玄界島

玄界島の山頂には300～370万年前(新生代新第三紀)に噴出した玄武岩が分布している。島の東側海域には警固断層が走っている。

机島は二島からなり、大机島・小机島ともに玄武岩でできている。また、黒っぽい溶岩と赤っぽいスコリア(噴火の際に溶岩のしぶきが火口周辺に積もったもの)が見られる。



柱島

柱島は一番小さい島で、玄武岩の見事な柱状節理を見ることができる。

花暦 能古島 はなごよみ

日本水仙	1月～2月上旬
菜の花	2月下旬～4月中旬
さくら	3月末～4月初旬
ポピー	3月上旬～5月上旬
つつじ	4月上旬～下旬
マリゴールド	4月下旬～7月下旬
あじさい	6月上旬～下旬
ひまわり	7月下旬～8月下旬

ダリア	9月中旬～10月下旬
コスモス	10月上旬～中旬
遅咲コスモス	10月下旬～11月上旬
さざんか	12月～2月上旬



※天候により多少異なる場合があります。

② 小呂島 島

福岡県、佐賀県、長崎県が見渡せる小呂島は、野鳥の宝庫で、渡り鳥の良い観察場である。海岸の植物も豊かで、福岡県の絶滅危惧種であるピロウが自生している。また、太平洋戦争の砲台跡があり、厚いコンクリートの弾薬庫、望楼などが残っている。小呂小中学校は、現在となつては希少な木造校舎で、特に体育館の天井には美しい木製梁組を見ることができる。



歴史の宝

③ 也良崎万葉歌碑 史跡・遺跡



也良崎は防人が置かれていたことが分かっている全国唯一の場所である。この歌は防人を詠んだ歌の一首で、船出して帰らぬ人となった夫を恋慕う妻子の悲しみを詠んだものである。

④ 檀一雄文学碑 歴史上の人物



作家檀一雄の絶筆「モガリ笛 いく夜もがらせ 花二逢はん」を刻んだ文学碑。碑の場所から「リツ子その愛・その死」の舞台となった糸島半島の小田の浜が望める。毎年5月の第3日曜日に、故人を偲ぶ「花逢忌」が開催される。

⑤ 鹿垣 史跡・遺跡



江戸時代、能古島は藩の鹿の猟場で最盛期には約600頭の鹿がいた。鹿垣は鹿が田畑を荒らさないように東西2kmにわたって築かれた石垣で、今も一部が残っている。

⑥ 能許万葉歌碑 史跡・遺跡

能許という地名が文献に初めて出た歌で、荒津から出航した遣新羅使が能許の泊(現在の唐泊)で風待ちをしている時の気持ちを読まれている。



⑦ 能古博物館 博物館

大型廻船模型、古地図など能古の島の歴史・民俗資料や儒学の筑前亀井学資料を展示している島の博物館である。国の天然記念物に指定されている「長垂のペグマタイト岩脈の鉱物」も展示されているので一見の価値がある。また、喫茶スペースからは福岡市内を一望でき、眺望も素晴らしい。入館有料(高校生以下無料)



⑧ 能古焼古窯跡 史跡・遺跡(市指定文化財)

能古博物館の敷地内にある登窯の窯跡である。江戸時代中期頃(18世紀後半)の約20年間操業した。



⑨ 永福寺 寺社

禅宗の寺で明治の初め頃まで神宮寺と呼ばれていた。境内には地元出身の洋画家多々羅義雄の歌碑や、戦後すぐに遭難し28人の犠牲者を出した能古渡海船の慰霊碑、二八観音などがある。



⑩ 白鬚神社 寺社

能古島の産土神。奈良時代の創建といわれ、祭神は住吉大神、神功皇后、志賀明神など。本殿の飛天の彫刻が見事である。



文化の宝

⑪ 白鬚神社おくんち行事 民俗行事(市指定無形民俗文化財)

毎年10月9日に行われる随所に近世の雰囲気を残した行事。当日は幼児の御幣持を先頭に豪華な供物を神社に運び祭典を行う。



⑫ 小呂島の御奉楽の三番叟 芸能

毎年8月18日は「御奉楽」と言い、海難無事故・無病息災のため「三番叟」を嶽宮神社・七社神社・恵比須神社において、小学校1年生から6年生を対象に3人ずつ(男2人・女1人)で舞う。



活動団体

ここでは西区で活動する自然を守る団体、歴史を紹介し保護する団体、音楽を通じ地域の人を元気にする団体、社会貢献をする団体を地域の宝として紹介します。

自然を守る団体 **自然宝**

飯盛山を愛する会

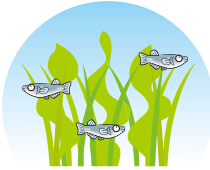
- 活動場所／飯盛山一帯
- 活動開始時期／2001年4月



飯盛山ふるさとの森整備事業を引き継ぎ、アジサイの道やカブト虫の森、ふれあいの森、野鳥の森、葉草園、モミジの植樹等の事業を通じ市民が親しめる森林づくりをしている。また、カブト虫飼育教室、バードウォッチングなども開催している。

室見川のメダカを守る会

- 活動場所／金武室見川流域
- 活動開始時期／2001年5月



稀少となったメダカを保護するため、金武アメンボ池を中心に育成や放流を行っている。この他にも赤米の田植えや月見会などを通じて子ども達にも自然愛護の教育をしている。また、流域の清掃活動も行っている。

室見川再生を語る会

- 活動場所／室見川流域
- 活動開始時期／2005年9月

河川改修により生き物が減少してきた室見川を、昔のように自然豊かな川に再生することを目標に、環境学習会の開催、自然環境調査、ピオトープの整備や生物多様性復活に向けた環境保全活動などを行っている。



すみよい今津をつくる会

- 活動場所／今津校区
- 活動開始時期／2001年



今津校区の校区民、児童が中心となり、桜、山茶花、カンナ、ハマボウ等の植樹をしている。故郷と自然を愛する活動を年3~4回行っている。

ひょうたん池(中牟田池)を考える会

- 活動場所／中牟田池(泉2丁目)
- 活動開始時期／2004年4月

住宅地の中に残る泉の湧く溜池を、その形から「ひょうたん池」と名付け、美しい自然を守るために花壇作りや水遊びなどを行っている。地元のいくつかの団体の統合組織である。

白砂青松 美の松露

- 活動場所／生の松原海岸
- 活動開始時期／2011年3月



白砂青松の生の松原海岸に昔はよく採れていたきのこの最高峰「松露」復元を夢見て、年24回の松葉掻きや土壌改良のため



の炭導入や水やりなどの活動を行っている地域団体。活動が実り、念願の松露が出現したことで、美しい松原海岸に復元したことが証明された。

新規

室見川シロウオ産卵場造成プロジェクト

- 活動場所／室見川河口付近
- 活動開始時期／2011年11月

博多の春告げ魚「シロウオ」は室見川の河口付近に、毎年2月~4月初めにかけて博多湾から産卵のためにのぼってくる。それを「梁(やな)と呼ばれる柵で囲い込んで捕るシロウオ漁が「早春の風物詩」となっている。

しかし、近年では河川の改修整備や水質環境の変化またシロウオの産卵場となる川底の石が砂に埋没し、捕獲量は年々減少している。

そこで毎年2月室見川において、福岡大学の教職員や学生が



漁業関係者、地域、行政と協力して、川(自然)の大切さや環境再生の重要性を考えるきっかけとなる活動として「シロウオの産卵環境の改善活動」に取り組んでいる。

自然・歴史を守る団体 **自然宝**

愛宕の森と緑を守る会

- 活動場所／愛宕山一帯
- 活動開始時期／2015年4月

愛宕山は海岸性照葉樹林と里山の植物が残り、一部は市の特別緑地保存地区にも指定されている。また歴史と信仰の山でもあり、多くの方が訪れる憩いの場でもある。

「愛宕の森と緑を守る会」は愛宕の森の自然環境を保全する活動として、稀少となった植物の調査・保護活動に努めたり、歴史と文化の調査研究なども行っている。また、みんなが森に親しみ、森への愛着を強める活動として、植物散策会や講演会、子どもの自然教室なども行っている。

歴史を守る団体 歴史宝

西区歴史よかとこ案内人連絡協議会

- 活動場所／区内4地区
1 姪浜・能古 2 今宿 3 今津 4 野方
- 活動開始時期／2000年4月

西区の歴史を西区及び他地域の人々に広く紹介し、守っていくボランティア活動を行っている。

4つの地区に属するメンバーがそれぞれ研修会を行い、参加者にも楽しく、喜んでいただける案内ができるよう努めている。

新規

国史跡吉武高木遺跡保存会

- 活動場所／吉武高木遺跡(やよいの風公園)
- 活動開始時期／2012年4月

約2,200年前の日本最古の王墓や弥生時代最大級の大型建物が発見され、国史跡に指定されている吉武高木遺跡「やよいの風公園」の日常管理や清掃に加え、美化や集客のための花づくり活動や開花に合わせたイベントの開催など史跡の公開普及活動に積極的に取り組んでいる。



文化を守る団体 音楽宝

今宿纏太鼓

- 活動場所／福岡市内 ●活動開始時期／1972年

昭和49年に今宿消防分団がポンプ操法県大会に出場したときの応援太鼓が始まり。消防団のシンボルである纏振りと和太鼓の演奏で防火を呼びかけている。



メンバーは全員消防団員でそれぞれ仕事を持ちながら、火災や災害の時にはボランティアで駆けつける。県文化交流団としてハワイ公演も行った。

野方台大正琴 花みずき

- 活動場所／西区内 ●活動開始時期／2003年4月

大正琴は、大正元年に森田吾郎氏によって考案され、100年以上にわたって親しまれてきた。ソプラノ・アルト・テナー・ベースの音が一体となった素晴らしいアンサンブルと大正琴の魅力を伝えるため、公民館や老人ホームなどでの演奏会を行っている。



今宿・玄洋子ども太鼓

- 活動場所／西区内 ●活動開始時期／1995年8月

今宿纏太鼓のメンバーの子どもたちが、親の練習について太鼓をたたき始めたのがきっかけとなり平成7年に結成。福祉施設や地元祭りの出演をはじめ、アジア太平洋子ども会議の出演では外国の子どもたちからも喜ばれた。メンバーは、今宿・玄洋の小学生で、月3回ほど練習している。

ギターアンサンブルカノン

- 活動場所／西区内 ●活動開始時期／1982年4月

クラシックギターによる合奏を中心に活動をしているサークル。演奏曲目はクラシックからポピュラーまで、幅広いジャンルの音楽を楽しんでいる。毎年定期演奏会を開催し、お子さんからお年寄りまで、音楽を楽しんでもらえるように、月2回姪浜公民館にて練習に励んでいる。



青龍太鼓

- 活動場所／福岡市内 ●活動開始時期／1996年1月

日本古来の和太鼓を皆様に喜んでいただける事をモットーに活動している。平成8年1月、本格的に活動を始め、保育園・学校・老人施設・結婚式など様々なイベントに年40~45回ほど出演している。



福岡フローリッシュプラス

- 活動場所／福岡市内 ●活動開始時期／1999年

九州最初の英国式金管合奏団。年に1度の自主公演をはじめとする演奏活動を中心に音楽面の向上を目指している。一人でも多くの方にプラスバンドのよさを知ってもらおうと、演奏会は全て無料で開催している。



野の花太鼓

- 活動場所／西区内 ●活動開始時期／1999年4月

障がい者支援施設「第一野の花学園」の利用者と職員で構成。地域のイベントなどで演奏活動を実施している。和太鼓の迫力ある音が利用者にとって希望と自信を高め、太鼓活動をしている利用者の中からも就職(自立)される方が毎年出ている。

Tin Don(ちんどん)オーケストラ

- 活動場所/西区内
- 活動開始時期/2002年11月

楽器演奏を通して、市内の各施設や公民館からの依頼に応じて、シニアの元気と笑顔の出前楽団として活動している。

西区合唱連絡会

- 活動場所/西区及び周辺地域
- 活動開始時期/2003年4月

西区の発展に寄与するため7団体で結成している。事業として「西区で第九を歌う会」及び「西区合唱団 西風」を組織し、合唱の楽しさを通して市民の親睦と合唱技術の向上を目指すとともに、心の栄養剤となることを目的としている。



西区市民吹奏楽団

- 活動場所/西区内
- 活動開始時期/1993年11月

西区内で様々な演奏活動を行い、市民の皆様に喜んでいただける演奏会を提供している。また、音楽活動の輪を広げ、団体の育成、支援、紹介、仲間作りなど音楽発信の団体となっている。

◎JA今宿支店にて毎週練習。

◎演奏会は主に西市民センター など。



創作和太鼓の会 花鼓周

- 活動場所/西区内
- 活動開始時期/1995年11月

女性だけのメンバーで和太鼓チームを結成。地元の周船寺をはじめ西区のイベントに数多く参加し、施設や学校への慰問活動も実施している。伝統文化としての和太鼓を多くの方々に伝えることを目標としている。



西区フィルハーモニーオーケストラ

- 活動場所/福岡市内
- 活動開始時期/1998年9月

管弦楽を通じて西区市民文化の創造と音楽文化の振興に貢献するとともに、よりよい市民のコミュニケーションづくりを行い、ひいては市民全体のまちづくりの推進に寄与するべく努力することを活動目的としている。

◎毎週土曜日にJA今宿支店にて練習。

◎1月にニューイヤーコンサート、6月に定期演奏会その他地域への訪問演奏を行う。

フォークダンスハーモニーズ

- 活動場所/野方台集会所、下山門公民館
- 活動開始時期/1999年5月

野方台・下山門で活動する団体の集まり。各々、週1回約2時間、世界の民謡音楽に合わせ、頭と体、それに心も楽しく踊っている。この楽しさをもっと多くの皆さまに知っていただき、ぜひ仲間に入っていただきたいと、老若男女を問わずメンバーを募集中である。

大宰府連雅会

- 活動場所/姪浜公民館(最寄りの教室)
- 活動開始時期/2004年1月

大陸との交易が深かったころの大宰府をイメージし、九州全体を代表できるような会に育てることを目標として発足した雅楽会である。拳式演奏や東京や大阪・京都・九州一円で活動しており、夢である世界公演へ向けて日々稽古に励んでいる。



玄界小中学校和太鼓

- 活動場所/玄界島
- 活動開始時期/2008年9月

福岡西方沖地震で活気を失ってしまった島を元気づけるため、平成20年から玄界中学校で和太鼓の授業を始め、現在では小中学校の生徒全員で取り組んでいる。プロの指導者の方からご指導いただきながら、日頃の活動で小学生・中学生が互いに教え合い、地域のイベントに向けて自分たちで演奏を作り上げている。



壱岐いきまると踊り隊

- 活動場所/JA福岡市壱岐支店
- 活動開始時期/2004年4月

60～80代のメンバー15人が、週3回JA壱岐支店で鳴子ダンスなどを練習している。JA関連のイベント、介護施設・病院でのイベントやどんたくのパレード等様々なイベントに参加している。

文化を守る団体 **宝**

音楽

西陵こども・ふれあい太鼓

- 活動場所／西区内
- 活動開始時期／2005年

和太鼓を通じた、地域のこどもから高齢者までの三世代交流のふれあい広場として、平成17年6月に活動を開始。毎週土曜日に西陵小学校の体育館で練習し、地域の夏祭りやイベント、小学校のPTA行事、施設の訪問等で演奏している。小学生を中心とするメンバーで、太鼓を楽しく打つこと、元気に挨拶することをモットーに稽古にはげんでいる。



音楽創作 作家

吉武 真理

- 活動場所／西区内が主、市内および海外
- 活動開始時期／2001年4月

クラシックから童謡まで幅広い音楽活動をしている。ハーブやキーボードの奏者として、学校や病院などでのコンサートにボランティアで賛助するほかにも、こども達のための人形劇の音楽や絵本の読み聞かせのBGMなど、音楽の創作も行っている。

北崎太鼓 海音

- 活動場所／西区をはじめ福岡市内
- 活動開始時期／2015年11月

平成27年11月、校区文化祭での北崎中による演奏を契機に、小中学生や地域の有志が和太鼓の練習を始め、翌年の小中合同運動会や校区文化祭で和太鼓演奏を行った。

平成29年1月、「北崎太鼓 海音」として、公民館のサークルとして登録以降、地元の行事のみならず、「西区まるごと博物館 in さいとびあ2017」や「福岡和の祭典(博多座)」などでも演奏するなど幅広く活動している。



文化を守る団体 **宝**

民俗行事

今津人形芝居保存会(県指定無形民俗文化財)

- 活動場所／今津
- 活動開始時期／昭和29年

江戸時代に若者の善導のために採り入れられた隣村「大原」の人形浄瑠璃「大原操り」を、明治24年に今津で宗善次郎が恵比寿座を結成して道具と技術を受け継いだもので、昭和29年5月に県から無形民俗文化財に指定された。平成9年より、毎年秋にさいとびあ等で定期公演が行われている。



元岡獅子舞・元岡祇園ばやし保存会(市指定無形民俗文化財)

- 活動場所／元岡校区
- 活動開始時期／明治30年

7月第2土・日の八坂神社の祇園祭で奉納される。明治初年頃始められ、一時中断されることもあったが、昭和40年に復活させた。



宇田川原豊年獅子舞保存会(市指定無形民俗文化財)

- 活動場所／宇田川原町内、周船寺校区 ほか 市内全域
- 活動開始時期／1700年代 享保年間

享保年間(1716~1736年)の大飢饉の後、豊作を祈ることから始まったと伝えられている。正月元旦に宇多神社に、また、8月17日の丸隈山古墳の慰霊祭に奉納されている。



今宿青木獅子舞保存会(市指定無形民俗文化財)

- 活動場所／青木地区をはじめ福岡市内
- 活動開始時期／昭和50年1月

この獅子舞は近くの高祖山(糸島市との境)に外敵を防ぐ目的で怡土城(山城)が築城された折、その落成祝いに青木の住民が獅子舞を奉納したのが始まりと伝えられているもので、古い歴史を有する伝統芸能である。



城ノ原・小松原盆行事保存会(市指定無形民俗文化財)

- 活動場所／城ノ原・小松原町内 ほか
- 活動開始時期／1996年8月13日

江戸時代から地域に愛され代々受け継がれてきた城ノ原の盆踊り。毎年8月14日・15日に盆行事保存会が中心となって、笛・太鼓・三味線のお囃子と音頭取りの口上に合わせて盆踊りを実施している。

その他の活動 宝

めいゆうかい

姪友会

- 活動場所／姪の浜
- 活動開始時期／1970年1月

姪の浜を中心に故郷を愛する活動を行う企業経営者の団体。精霊流し花火大会を始め姪浜歴史案内板の設置、郷土写真集の出版、姪浜中央公園の桜植樹、神社の修復、福祉施設への慰問等の活動を実施している他、町づくりの提案や社会貢献活動にも取り組んでいる。



からつかいどうめいのほま

きょうぎかい

唐津街道姪浜まちづくり協議会

- 活動場所／旧唐津街道を中心とした姪浜周辺
- 活動開始時期／2007年3月

唐津街道姪浜ならではのまちづくりを推進するため、ガイドツアー、みそ蔵コンサート、灯明コンサート等の町並みイベントや、歴史散策マップの配布、まちづくり瓦版の発行等の地域の魅力PR活動を展開している。



にしくこ

かい

NKJL(西区子ども会ジュニアリーダー)

- 活動場所／西区をはじめ福岡市内
- 活動開始時期／2003年6月

西区子ども会育成連合会のスタッフとして、子ども会や地域の行事に参加し、活動への協力や提案をする中学生・高校生及びその卒業生で組織された団体。西区内に限らず、市内で幅広く活動しており、夏の一泊研修は西区内の小学5・6年生約70名を対象に、全てジュニアリーダーが企画・運営を行っている。

おど

小戸サンライズセーリングクラブ(OSSC)

- 活動開始時期／1983年

初心者から上級者まで、また一人乗り用のディンギーからクルーザーまで好みに合ったヨットライフが楽しめる社会人のヨットクラブ。毎年夏は、ヨット教室や親子体験教室に多くの方が参加されヨットの魅力を満喫している。活動は、土・日・祝日。



iTOP(アイトップ)

- 活動場所／西区、糸島市など
- 活動開始時期／2011年2月

「学生と地域がつながるまちづくり」を目的として、九州大学の伊都キャンパス移転を契機に設立された学生サークル。福岡市西区から糸島市にわたる伊都地区の地域活性化に向けて、イベントの企画・運営、周船寺商工連合会のwebサイト制作等を行っている。

F.E.E.L.(フィール)

- 活動場所／西区、糸島市など
- 活動開始時期／2006年4月

九州大学の学生サークル。主に「体験」を通して、様々なことを感じ味わうことにより、何かを学べるような「学びの場創り」を目的としている。西区や糸島市などの公民館に向向いて、理科実験、地域の文化祭出店、子ども会活動への参加等を行っている。

博多あん・あんリーダー会西支部

- 活動場所／西区内
- 活動開始時期／2007年4月

福岡市が毎年開講している博多あんあん塾(2005年結成)の中から西区在住のメンバーで、結成した団体。地域の防災意識向上を目指して、地域活動アドバイザーとして活動。避難所運営訓練(HUG)等のワークショップを開催している。





西区の宝一覧

(カテゴリー別 五十音順)

自然の宝

33件

名称	解説	MAP	名称	解説	MAP
愛宕神社のスタジイ	— P11 —	P10 ①	拾六町特別緑地保全地区	— P11 —	P10 ⑨
愛宕山特別緑地保全地区	— P11 —	P10 ②	住吉神社のイチョウ	— P11 —	P10 ④
飯盛特別緑地保全地区	— P15 —	P14 ⑤	長垂の含紅雲母ベグマタイト岩脈	— P5 —	P4 ①
飯盛山の王桜	— P15 —	P14 ⑥	灘山	— P2 —	P1 ②
生の松原のクロマツ林	— P11 —	P10 ⑥	斜ヶ浦池	— P11 —	P10 ⑦
今津干潟	— P8 —	P7 ②	西区ふれあいの森	— P15 —	P14 ④
今山特別緑地保全地区※	— P5 —	P3 ③	西浦岬灯台	— P2 —	P1 ①
今山タンポポ群生地	— P5 —	P3 ④	橋本特別緑地保全地区	— P15 —	P14 ①
上町天満宮の「こぶえのき」	— P5 —	P3 ⑤	橋本八幡宮のイヌマキ	— P15 —	P14 ②
小呂島	— P18 —	P17 ②	ハマボウ	— P8 —	P7 ⑤
金武アメンボ池	— P15 —	P14 ③	毘沙門山	— P8 —	P7 ⑥
金武のヤマモモ	— P15 —	P14 ⑦	宝島	— P8 —	P7 ①
カブトガニ	— P8 —	P7 ④	万正寺のタブノキ	— P11 —	P10 ③
熊野神社のフジ、マキノキ	— P11 —	P10 ⑧	妙見宮内の市保存樹群	— P15 —	P14 ⑧
クロツラヘラサギ	— P8 —	P7 ③	室見川の白魚漁	— P11 —	P10 ⑩
玄界島・机島・柱島	— P18 —	P17 ①	八雲神社のクスノキ	— P5 —	P4 ②
十郎川	— P11 —	P10 ⑤			

※今山特別緑地保全地区は歴史の宝でもある

歴史の宝

73件
(74件)

名称	解説	MAP	名称	解説	MAP
愛宕神社	— P12 —	P10 ⑬	今宿大塚古墳	— P5 —	P3 ⑧
飯氏二塚古墳	— P6 —	P3 ⑮	二宮神社・亀井少菜	— P6 —	P3 ⑰
飯盛神社	— P16 —	P14 ⑭	今津元寇防塁	— P9 —	P7 ⑪
飯盛文殊堂	— P16 —	P14 ⑮	今山遺跡	— P6 —	P3 ⑱
彦岐神社	— P13 —	P10 ⑳	岩窟弁財天社	— P12 —	P10 ⑪
生の松原元寇防塁	— P13 —	P10 ㉓	宇多神社	— P6 —	P3 ⑰
伊観神社	— P6 —	P3 ⑬	永福寺	— P18 —	P17 ⑨

※(74件)は今山特別緑地保全地区を加えた数



西区の

歴史の宝

名称	解説	MAP	名称	解説	MAP
大歳神社	—————	P 2 — P 1	檀一雄文学碑	—————	P 18 — P 17
小戸大神宮	—————	P 13 — P 10	旦過だるま堂	—————	P 12 — P 10
叶岳(叶嶽神社)	—————	P 6 — P 4	探題塚	—————	P 12 — P 10
兜塚古墳	—————	P 6 — P 3	東林寺と万葉歌碑	—————	P 2 — P 1
亀井南冥生誕地	—————	P 12 — P 10	徳門寺	—————	P 2 — P 1
唐津街道「今宿」沿いの史跡群	P 6 — P 3	20	登志神社	—————	P 8 — P 7
唐津街道と旧家	—————	P 13 — P 10	野方遺跡	—————	P 15 — P 14
観音寺	—————	P 12 — P 10	能古博物館	—————	P 18 — P 17
九大伊都キャンパス内元岡・桑原遺跡群と康寛銘大刀	P 9 — P 7	18	能許万葉歌碑	—————	P 18 — P 17
旧三瀬街道と金武宿	—————	P 16 — P 14	能古焼古窯跡	—————	P 18 — P 17
草場古墳群	—————	P 13 — P 10	橋本八幡宮	—————	P 15 — P 14
くじら石	—————	P 2 — P 1	八大龍王	—————	P 9 — P 7
熊野神社<今津>	—————	P 9 — P 7	羽根戸原地蔵堂と羽根戸古墳群	P 15 — P 14	11
熊野神社<拾六町>	—————	P 13 — P 10	羽根戸南古墳群	—————	P 15 — P 14
柑子岳城址	—————	P 2 — P 1	本岳寺	—————	P 9 — P 7
興徳寺	—————	P 13 — P 10	松林飯山生誕地と石碑	P 16 — P 14	13
光明寺(小田観音堂)	—————	P 2 — P 1	丸隈山古墳	—————	P 5 — P 3
三所神社<千里>	—————	P 6 — P 3	宮崎安貞の書斎・墓	—————	P 5 — P 3
三所神社<宮浦>	—————	P 2 — P 1	妙見宮(五十猛神社)	—————	P 16 — P 14
鹿垣	—————	P 18 — P 17	夫婦塚古墳	—————	P 16 — P 14
四所神社	—————	P 9 — P 7	蒙古山記念碑	—————	P 2 — P 1
蛇岩	—————	P 12 — P 10	元岡瓜尾貝塚	—————	P 9 — P 7
拾六町ツイジ遺跡	—————	P 13 — P 10	八雲神社	—————	P 5 — P 4
勝福寺	—————	P 9 — P 7	八坂神社	—————	P 9 — P 7
白鬚神社	—————	P 18 — P 17	山の鼻1号古墳	—————	P 5 — P 3
白木神社	—————	P 2 — P 1	也良崎万葉歌碑	—————	P 18 — P 17
鋤崎古墳	—————	P 5 — P 4	吉武高木遺跡	—————	P 16 — P 14
住吉神社	—————	P 12 — P 10	若八幡宮古墳	—————	P 5 — P 3
誓願寺	—————	P 8 — P 7	鷺尾城跡	—————	P 12 — P 10
千人塚・万人塚	—————	P 9 — P 7			

宝一覧



(カテゴリー別 五十音順)

文化の宝

10件

名称	解説	MAP	名称	解説	MAP		
飯盛神社のかゆ占	——— P16	— P14	20 野方・金武エリア	草場の盆綱引き	——— P2 — P1	14 北崎エリア	
飯盛神社流鏝馬行事	——— P16	— P14	21 野方・金武エリア	白鬚神社おくんち行事	——— P18	— P17	11 能古島・玄界島・小呂島エリア
今宿上町天満宮の鬼すべ	— P6	— P3	21 今宿・周船寺エリア	西浦の祝いめでた	——— P2	● 北崎エリア	
小呂島の御奉楽の三番叟	— P18	— P17	12 能古島・玄界島・小呂島エリア	西浦のかずら引き	——— P2	— P1	12 北崎エリア
唐泊の御万歳	——— P2	— P1	13 北崎エリア	横町祇園神社の子ども山笠	— P6	— P3	22 今宿・周船寺エリア

団体の宝

41件

	名称	解説	名称	解説
自然	飯盛山を愛する会	——— P19	室見川再生を語る会	——— P19
	すみよい今津をつくる会	——— P19	室見川シロウオ産卵場造成プロジェクト	—— P19
	白砂青松 美の松露	——— P19	室見川のメダカを守る会	——— P19
	ひょうたん池(中牟田池)を考える会	——— P19		
自然歴史	愛宕の森と緑を守る会	——— P19		
歴史	西区歴史よかとこ案内人連絡協議会	——— P20	国史跡吉武高木遺跡保存会	——— P20
音楽	吉岐いきまると踊り隊	——— P21	西区市民吹奏楽団	——— P21
	今宿・玄洋子ども太鼓	——— P20	西区フィルハーモニーオーケストラ	——— P21
	今宿纏太鼓	——— P20	西区合唱連絡会	——— P21
	ギターアンサンブルカノン	——— P20	野方台大正琴 花みずき	——— P19
	北崎太鼓 海音	——— P22	野の花太鼓	——— P20
	玄界小中学校和太鼓	——— P21	創作和太鼓の会 花鼓周	——— P21
	青龍太鼓	——— P20	フォークダンスハーモニーズ	——— P21
	西陵こども・ふれあい太鼓	——— P22	福岡フローリッシュプラス	——— P20
	大宰府連雅会	——— P21	音楽創作 作家 吉武 真理	——— P22
	Tin Don(ちんどん)オーケストラ	——— P21		
民俗行事	今宿青木獅子舞保存会	——— P22	城ノ原・小松原盆行事保存会	——— P22
	今津人形芝居保存会	——— P22	元岡獅子舞・元岡祇園ばやし保存会	——— P22
	宇田川原豊年獅子舞保存会	——— P22		
その他	iTOP(アイトップ)	——— P23	博多あん・あんリーダー会西支部	——— P23
	NKJL(西区子ども会ジュニアリーダー)	——— P23	F.E.E.L.(フィール)	——— P23
	小戸サンライズセーリングクラブ(OSSC)	——— P23	姪友会	——— P23
	唐津街道姪浜まちづくり協議会	——— P23		

「西区の宝」募集しています!

現在、認定・登録しています「西区の宝」以外にも、西区には魅力ある資源がまだまだたくさんあると思います。

そこで、皆さんの周りにある「西区の宝」を教えてください。

毎年6~7月に「西区の宝」募集を行っています。詳細につきましては、市政だより等をご覧ください。

審査の結果、「西区の宝」として認定・登録させていただいたものについては、本冊子、西区役所ホームページ等で広く紹介させていただきます。(令和3年3月31日現在の西区の宝数:157)

「西区まると博物館推進会」会員大募集!

西区まると博物館推進会は、現在約70名のメンバーが活動しています。

「企画・広報部会」「自然部会」「歴史部会」「文化部会」の4つの部会に分かれ、役割を分担しながら活動しています。

一緒に活動していただける方を随時募集しています。興味がある方は、下記問い合わせまでお気軽にご連絡ください。



発行元・お問い合わせ先

西区まると博物館推進会

〒819-8501 福岡市西区内浜1丁目4-1 (西区役所企画振興課内)

Tel.092-895-7032 Fax.092-885-0467

HP. <http://www.city.fukuoka.lg.jp/nishi/>

西区まると

検索

発行年月 令和3年3月